

平成31年度(令和元年度)「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	平野区
学 校 名	大阪市立加美南部小学校
学校長名	吉岡 千明

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成31年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、児童の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大阪市立加美南部小学校では、第6学年 81名

平成31年度(令和元年度)「全国学力・学習状況調査」結果の概要

平均正答率は、国語、算数について、大阪市平均をそれぞれ2ポイント、4ポイント、全国平均をそれぞれ、7.8ポイント、5.6ポイント下回っている。平均無解答率は、国語、算数について、大阪市平均よりそれぞれ、0.6ポイント、0.7ポイント、全国平均よりそれぞれ、0.7ポイント、0.6ポイント高い結果になった。

ここ数年、少人数による個に応じた学習や反復練習を多く取り入れたスモールステップ学習などを中心に取組をすすめているが、基礎学力の確実な定着や児童が、自主的に粘り強く学習に取り組む姿勢等には、十分につながっていない。今後も自校の課題としてとらえ、指導をすすめる。

分析から見てきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

国語について、領域別にみると、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」においては、大阪市平均、全国平均ともに下回る結果となった。「読むこと」に関しては、全国平均は下回ったが、大阪市平均は上回った。

本校では、ここ数年、読書に関する取組が全学年で活性化している。児童の読書量も年々増加している。「読むこと」が大阪市平均を上回ったのは、その成果であると考えられる。

〔算数〕

算数について、領域別にみると、「数と計算」「領と測定」「図形」「数量関係」において、大阪市平均、全国平均ともに下回る結果となった。

本校では、習熟度別少人数指導などを取り入れ、児童の課題や児童の特性に応じたきめ細かい指導を行っているが、今後も引き続き、指導を重ねていくことが必要である。

質問紙調査より

低学年時より、給食指導をはじめとする食育や基本的生活習慣の確立、規範意識の醸成、仲間づくりを中心とした集団育成に取り組んできた。「朝食を毎日食べていますか」の質問に対する肯定的回答が大阪市平均、全国平均ともに上回り、「学校のきまりを守っていますか」の質問に対する肯定的回答が大阪市平均を上回るなど、一定の成果が上がっているといえる。しかし、「自分には、よいところがあると思いますか」の質問に対する肯定的回答が大阪市平均、全国平均ともに下回っており、児童が達成感を感じる体験、また、褒められる体験や成功体験を積み重ねさせることで、自尊感情を育てていく必要がある。

学習に関しては、家庭での学習時間の少なさが課題である。「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の質問に対する肯定的回答が、大阪市平均、全国平均ともに大きく下回り、否定的回答が40ポイント以上ある。今後も、家庭とも連携し、家庭における学習習慣づくりに努める。

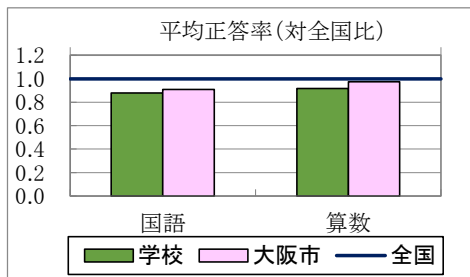
今後の取組(アクションプラン)

- ・漢字にふれる機会や辞書や事典で調べる機会を増やすことで、漢字の定着や語彙を増やすことに努める。
- ・「書く」活動に苦手意識をもつ児童が多いので、「書く」活動における少人数指導の充実（習熟度別指導の効果的な活用等）に努める。
- ・計算能力（特に高学年で学習する四則計算）向上のため、反復ドリルプリント・スモールステップ復習プリント等の充実と活用を図る。
- ・ICT機器の活用を図ることで、「聞く」「見る」「読む」活動を充実させるとともに、「情報のとらえ方」や「処理の仕方」を身につけさせ、児童が主体的・自主的に学習する機会を増やす。
- ・今後も、放課後ステップアップ学習会など、家庭学習習慣・自主学習習慣づくりにつながる取組をすすめる。

【 全体の概要 】

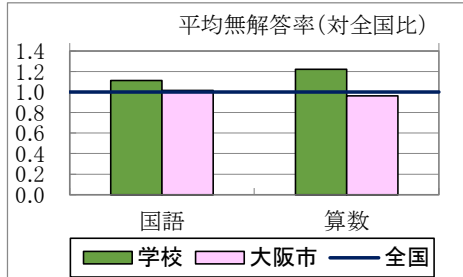
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	56	61
大阪市	58	65
全国	63.8	66.6



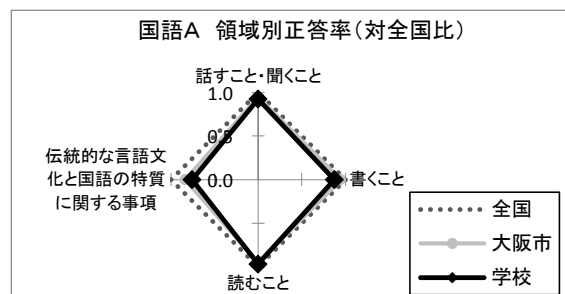
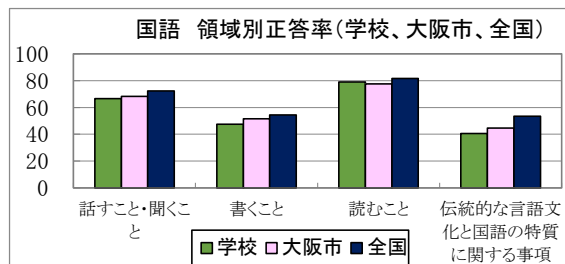
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	6.9	3.3
大阪市	6.3	2.6
全国	6.2	2.7



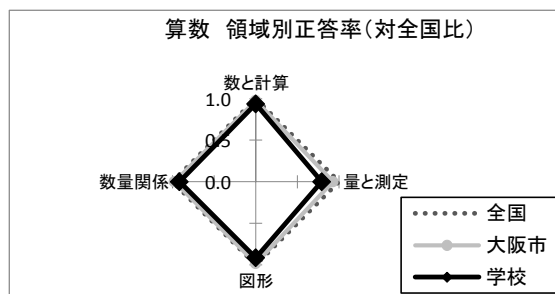
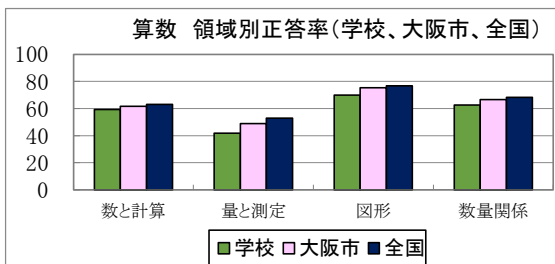
【 国 語 】

		対象設問 数(問)	平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領 の 領域等	話すこと・聞くこと	3	66.7	68.3	72.3
	書くこと	3	47.6	51.5	54.5
	読むこと	3	79.1	77.7	81.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	5	40.5	44.6	53.5



【 算 数 】

		対象設問 数(問)	平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領 の 領域等	数と計算	7	59.2	61.7	63.2
	量と測定	3	41.8	49.0	52.9
	図形	2	70.0	75.3	76.7
	数量関係	7	62.7	66.7	68.3



児童質問紙より

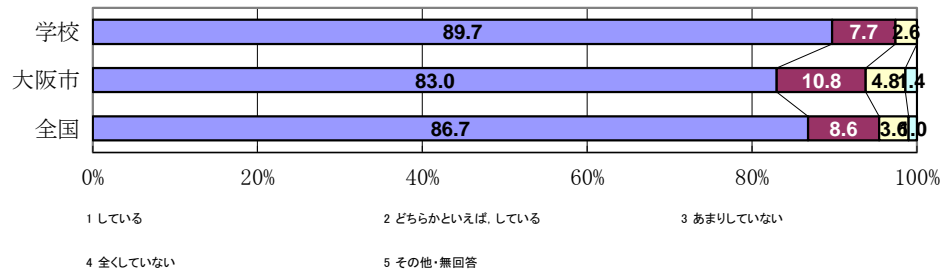
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

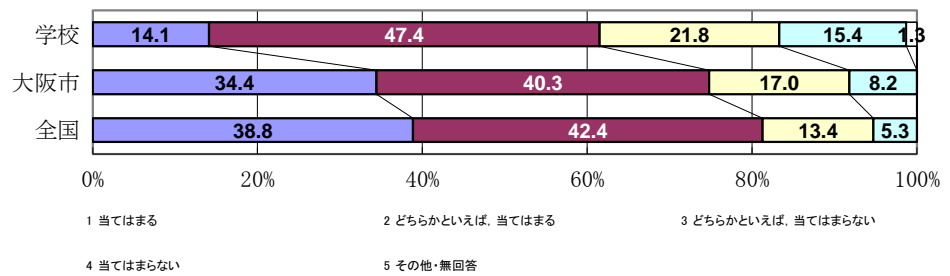
1

朝食を毎日食べていますか



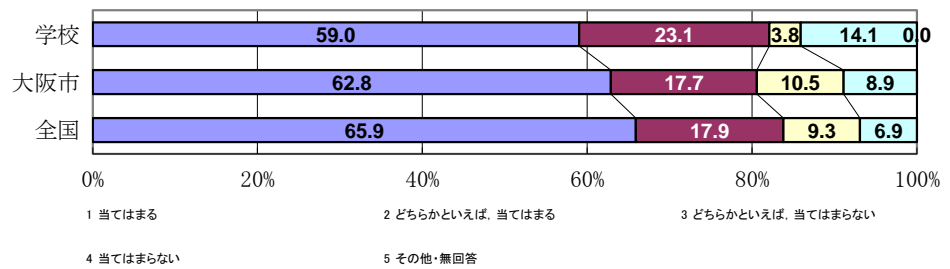
5

自分には、よいところがあると思いますか



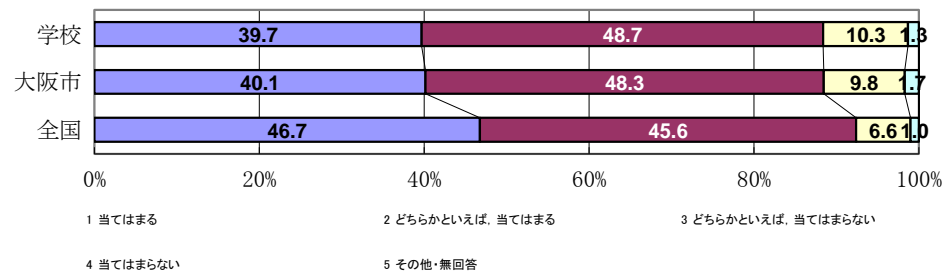
8

将来の夢や目標を持っていますか



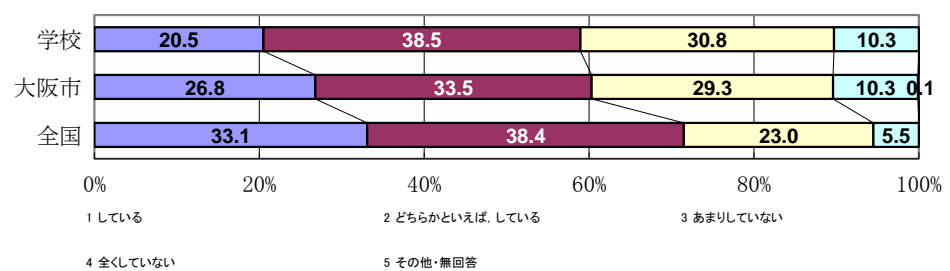
13

学校のきまりを守っていますか



17

家で自分で計画を立てて勉強をしていますか



学校質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8

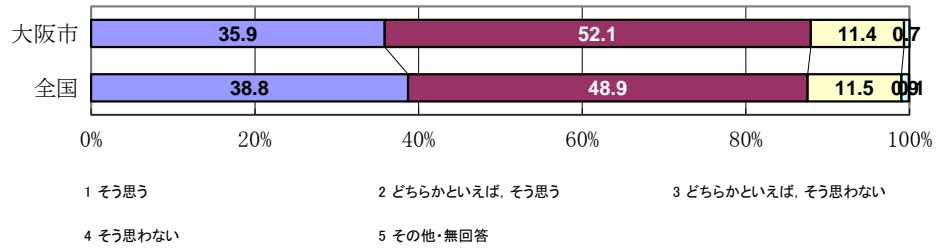
質問番号

質問事項

9

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

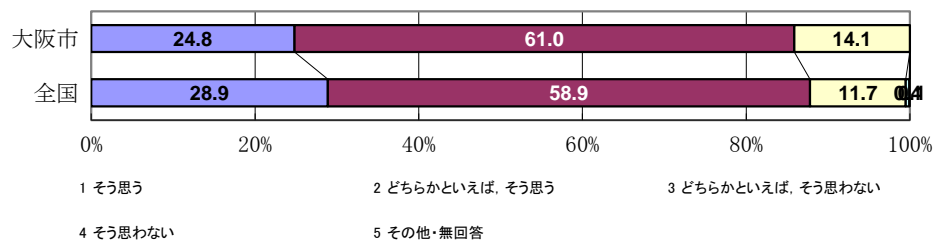
学校 「そう思う」を選択



10

調査対象学年の児童は、礼儀正しいと思いますか

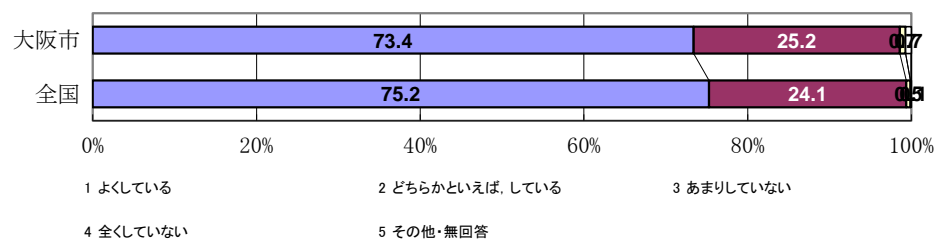
学校 「そう思う」を選択



24

授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っていますか

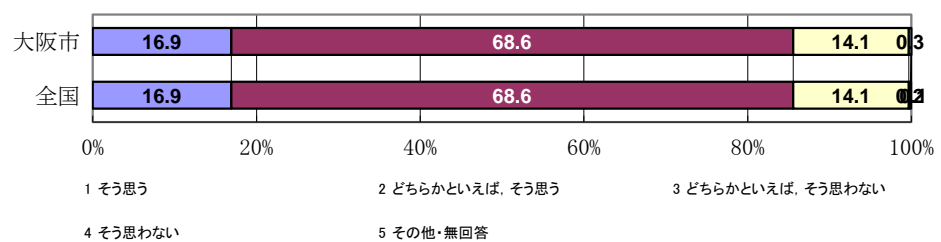
学校 「よくしている」を選択



32

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていますか

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



56

保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか

学校 「よく参加している」を選択

